

中予地方局農業振興課『普及だより』

令和5年3月発行
地域農業育成室・産地戦略推進室

〒790-8502 松山市北持田町132番地
伊予農業指導班 〒799-3122 伊予市市場127番地1
久万高原農業指導班 〒791-1202 上浮穴郡久万高原町入野263番地

tel (089) 909-8762
tel (089) 982-0477
tel (0892) 21-0314



いちご環境制御技術勉強会により収量アップへ

いちご栽培は高度な知識や技術、長年の経験などが求められるため、新規就農者がベテラン農家のようにいちごを作ることは困難でした。そこで、ベテラン農家のハウス内環境（気温、湿度、CO₂濃度等）を数値で「見える化」し、新規就農者も高品質ないちごを多く収穫できるよう「いちご環境制御技術勉強会」を開催しました。

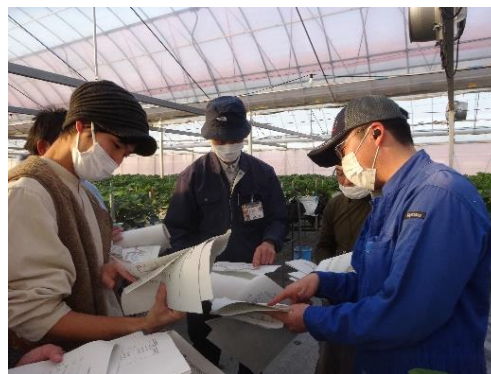
■環境制御技術勉強会「だんだんの会」を結成

地域農業育成室は、環境制御技術に関心のあるいちご農家に働きかけ、環境制御技術勉強会「だんだんの会」を結成し、12月～2月の間、2週間に1回開催しました。

各農家のハウス内環境データや農家自らが実施した生育調査の結果を SNS や研修等で共有し、栽培技術の底上げを図りました。



データ計測研修



ハウスでの現地研修

■自作装置でハウス内気温を適正管理

従来の測定方法では気温を正確に測定できていないため、当室が自作した「通風式放射よけ装置」をハウス内に設置しました。設置した装置により気温を測定したところ、ハウス内気温は生育適正温度よりも2～3℃低くなっていたことが判明し、農家へ換気扇等の設定温度変更を指導しました。農家からは、「日中の温度が低いことが分かり、早速改善したい」「見える化は大事だ」との声が聞かれています。



装置の作成



装置の設置

ユーカーリほ場の排水性改善

ユーカーリは、軽量で取り扱いやすく、早期から収穫可能なため、中予管内で主要な品目として栽培され、全国有数の産地となっています。しかし、近年増加傾向にある水田転作ほ場で、排水性の悪さから株枯れ症状が多発して問題となっています。

そこで、地域農業育成室では、ほ場の土壌を採取し、三相分布（固相、液相、気相）を測定し土壌特性の分析をすすめました。排水性の悪いほ場で、通路に穴掘り機を用いて縦穴を開け、停滞水を地下へ逃がすようにしたら、排水性が改善され、株枯れ症の発生を抑えることができました。



土壌採取および三相分析



穴掘り機を用いた縦穴開け

新規就農希望者の就農定着を支援します！！

伊予市農業振興センターでは、就農相談や新規就農者の定着に向けて、伊予市や農業委員会・JA えひめ中央・農業共済組合・伊予農業指導班の担当で構成された「**新規就農者担当者班**」が、**新規就農者の確保と就農後の経営安定化・地域定着支援**に取り組んでいます。

就農に関する個別相談のほか、年に2回程度サラリーマン等を対象とした休日での相談会を開催し、幅広い就農相談に対応しています。また、新たに野菜栽培に取り組みたい人を対象に「**新規就農者勉強会**」を開催し、**就農へのきっかけづくり**に取り組んでいます。

令和5年度は、振興センターが開設されて10年目となることから、更なる担い手確保支援に向けての取組を検討しています。



就農相談会



新規就農者勉強会（現地研修）